



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 常磐興産株式会社

コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 秋田 龍生

TEL 03-3663-3411

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,097	97.0	1,725	—	1,399	—	2,389	—
24年3月期第3四半期	18,321	△32.0	△968	—	△1,417	—	△7,101	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,558百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △7,369百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	27.89	19.53
24年3月期第3四半期	△89.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	58,258	—	12,012	—	—	20.6
24年3月期	57,662	—	9,462	—	—	16.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 11,991百万円 24年3月期 9,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式の配当状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,360	53.1	1,460	—	700	—	1,500	—	15.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	79,598,912 株	24年3月期	79,598,912 株
25年3月期3Q	90,436 株	24年3月期	85,868 株
25年3月期3Q	79,511,326 株	24年3月期3Q	79,514,448 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金総額は以下のとおりです。

なお、平成25年3月期に累積未払配当金を含め優先株式に配当を実施することにより、普通株式に対する将来の復配に向けた環境を整えるものです。

第1回A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				600.00	600.00

なお、定款の規定により下記累積未払優先配当金を平成25年3月期優先配当金と同時に支払う予定です。

基準日 平成23年3月31日(配当対象期間:1年) 1株当たり年間配当金(利息分含む)557円67銭

基準日 平成24年3月31日(配当対象期間:1年) 1株当たり年間配当金(利息分含む)549円53銭

第1回B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				600.00	600.00

なお、定款の規定により下記累積未払優先配当金を平成25年3月期優先配当金と同時に支払う予定です。

基準日 平成24年3月31日(配当対象期間:2ヶ月2日) 1株当たり年間配当金(利息分含む)108円04銭

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資や個人消費が底堅さを維持するなど緩やかな持ち直しの動きが見られますものの、金融不安や海外経済の減速に対する懸念が残るなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

観光業界においても国内旅行需要の伸びが鈍化し、加えて福島県内においては依然として厳しい状況にありますが、各方面からの復興へのご支援等によりスパリゾートハワイアンズは夏休みを中心に好調に推移し、増収増益となりました。

卸売業および運輸業につきましては堅調に推移し増収増益となりましたものの、製造関連事業は厳しい状況となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、360億97百万円（前年同期比177億75百万円、97.0%増）、営業利益は17億25百万円（前年同期は営業損失9億68百万円）、経常利益は13億99百万円（前年同期は経常損失14億17百万円）、復興補助金等を特別利益に計上したことにより四半期純利益は23億89百万円（前年同期は四半期純損失71億1百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(観光事業)

日帰り部門につきましては、「フラガール」によるショーが人気を博す一方、夏休みに「ポリショイサーカス空中ブランコ」、秋には「洋らんフェア」、冬休みには人気キャラクターによる「スマイルステージ・パラダイス」等の多彩なイベントを実施するなど集客に努めた結果、利用人員は1,098千人（前年同期比990千人、912.0%増）となりました。

宿泊部門につきましては、新ホテルの稼働に加え、旅行会社との連携が奏功し、シニア層や団体客の利用が増加しました結果、利用人員は282千人（前年同期比255千人、922.3%増）となりました。

クレストヒルズゴルフ倶楽部は、首都圏からの利用者の増加等により、利用人員は43千人（対前年同期比17千人、66.7%増）となりました。

この結果、当部門の売上高は89億90百万円（前年同期比79億58百万円、771.3%増）、営業利益は17億98百万円（前年同期は営業損失8億23百万円）となりました。

(卸売業)

石炭、石油両部門ともに、主要納入先である電力会社への販売数量が増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は、242億66百万円（前年同期比99億32百万円、69.3%増）、営業利益は、2億28百万円（前年同期比97百万円、74.7%増）となりました。

(製造関連事業)

中国等の経済減速等の影響を受け、建設機械向け製品等の販売数量が減少する一方、船舶用モーターの販売単価も下落いたしました。

この結果、当部門の売上高は、12億85百万円（前年同期比2億90百万円、18.4%減）、営業利益は86百万円（前年同期比80百万円、48.1%減）となりました。

(運輸業)

港湾運送部門につきましては主に電力会社向け石炭輸送が増加する一方、石油小売部門につきましても販売数量が増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は、15億54百万円（前年同期比1億74百万円、12.6%増）、営業利益は64百万円（前年同期比33百万円、105.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億96百万円増加し、582億58百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加によるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ19億54百万円減少し、462億45百万円となりました。これは主に、設備関係支払手形、災害損失引当金の減少によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25億50百万円増加し、120億12百万円となりました。これは主に、四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

我が国の景気は、経済政策の効果等により持ち直していくと期待されますものの、海外経済の減速による下振れ懸念など、引続き厳しい状況が続くと予想されます。

このような経営環境のもと当社グループは、コア事業であるスバリゾートハワイアンズの復旧工事等を昨年12月に完了する一方、その他の事業につきましても収益増を図るための諸施策を推進し、業績向上に向けて邁進してまいります。

平成25年3月期における通期の連結業績予想につきましては、平成24年9月7日に公表しました数値に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

一部子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表等
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,406	8,304
受取手形及び売掛金	2,509	3,332
たな卸資産	375	1,077
その他	435	349
貸倒引当金	26	56
流動資産合計	12,701	13,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,686	14,795
土地	14,683	14,683
その他(純額)	2,112	2,121
有形固定資産合計	31,483	31,601
無形固定資産		
投資その他の資産	104	82
投資有価証券	4,204	4,379
投資不動産(純額)	8,556	8,537
その他	2,160	2,702
貸倒引当金	1,586	2,078
投資その他の資産合計	13,334	13,540
固定資産合計	44,922	45,224
繰延資産	39	26
資産合計	57,662	58,258

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,204	3,534
短期借入金	13,552	15,923
1年内償還予定の社債	684	706
未払法人税等	74	50
賞与引当金	179	95
事業整理損失引当金	343	341
災害損失引当金	987	4
設備関係支払手形	1,783	165
その他	2,773	2,083
流動負債合計	22,583	22,906
固定負債		
社債	986	622
長期借入金	18,322	16,258
繰延税金負債	2,762	2,843
退職給付引当金	43	46
環境対策引当金	99	99
資産除去債務	393	397
その他	3,010	3,071
固定負債合計	25,617	23,339
負債合計	48,200	46,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	13,517	6,355
利益剰余金	6,243	3,300
自己株式	11	12
株主資本合計	9,403	11,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	209
土地再評価差額金	2	2
その他の包括利益累計額合計	40	206
少数株主持分	18	21
純資産合計	9,462	12,012
負債純資産合計	57,662	58,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,321	36,097
売上原価	17,998	32,376
売上総利益	323	3,720
販売費及び一般管理費	1,292	1,994
営業利益又は営業損失()	968	1,725
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	77	79
持分法による投資利益	-	32
不動産賃貸料	93	107
その他	35	41
営業外収益合計	207	262
営業外費用		
支払利息	442	468
持分法による投資損失	4	-
不動産賃貸費用	49	54
その他	159	65
営業外費用合計	655	588
経常利益又は経常損失()	1,417	1,399
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資不動産売却益	14	2
復興補助金	-	1,209
施設提供料	141	-
その他	25	0
特別利益合計	181	1,214
特別損失		
固定資産除却損	0	5
減損損失	11	11
投資有価証券評価損	23	86
災害による損失	6,196	32
投資不動産除却損	0	0
その他	35	0
特別損失合計	6,267	136
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	7,502	2,477
法人税、住民税及び事業税	34	68
法人税等調整額	439	16
法人税等合計	404	85
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	7,097	2,392
少数株主利益	3	2
四半期純利益又は四半期純損失()	7,101	2,389

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	7,097	2,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	271	165
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	271	165
四半期包括利益	7,369	2,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,372	2,555
少数株主に係る四半期包括利益	3	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	観光事業	卸売業	製造関連 事業	運輸業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,031	14,333	1,575	1,380	18,321	-	18,321
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	268	-	49	318	318	-
計	1,032	14,602	1,575	1,430	18,640	318	18,321
セグメント利益 又は損失()	823	130	167	31	493	475	968

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 475百万円には、セグメント間取引消去 5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 469百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

観光事業セグメントにおいて、減損損失(80百万円)を「災害による損失」として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	観光事業	卸売業	製造関連 事業	運輸業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,990	24,266	1,285	1,554	36,097	-	36,097
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	371	-	51	425	425	-
計	8,992	24,638	1,285	1,606	36,522	425	36,097
セグメント利益	1,798	228	86	64	2,178	453	1,725

(注)1. セグメント利益の調整額 453百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 452百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。